

平成三十年五月十五日 教主担当信者心の道勉強会

神 示

「人生」を導く心の眞実を知って 日々歩む信者であれ

なぜ「教え」を学び 「真理」に生きる人は

心明るくゆつたりと生きられるのか

社会に生きる人は 知識を頼り 努力に「生きる」思いが強い

「思い」かなわぬ人は 社会を恨み 憎み 自ら人生を下げてゆく

信者に申す

神は 使者を通し 人たる人の「心」を 社会に示している

「真理」である

人が築く社会の姿に 「真理」は誠に少ない

欲心が 人たる人の「心」を見えなくしてゆく

ここに 実体が「道」欠き 外す 心の動きを引き出し

「人生」を暗く下げてゆく

なれど 「教え」を心の支えに「生きる」人は

必ず「運命」に心導かれ

多くの人の出会いに支えられ 教えられ

夢ある人生を歩んでゆく

「教え」が 人の心に 「人生」あるべき道を示す

後は 運命でつながる神の存在を感じて祈願

「思い」を神に預けて「人生」をゆく

行き着く先に 喜び多い 明るい「人生」が待っている